

(別紙5)

補助事業番号 28-2-003
補助事業名 平成28年度 子どもが幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人日本子守唄協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

子育て支援が社会的課題となり関心を持つ人々が増えることにより、子育て中の親に対する様々な支援が必要とされている。全国の都道府県で定期的に活動が開催されることにより、多くの人々が子育てを応援することで子どもが幸せに暮らせる社会を創る活動に寄与する。

(2) 実施内容

①東京都 千代田区立内幸町ホール

～平成28年度子どもが幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業～

「母なる大地を唄おう～伝承の大切さ～」



第一部 「アイヌの子守唄」

聞き手として放送作家の野田英夫さんと日本子守唄協会理事長の西館好子がさまざまな角度から質問し、宇梶静江さんがアイヌの生活や子育てについて、古く

(別紙5)

から伝えられた体験談や様々なエピソードを交えてお話してくださいました。そして、弓野恵子さんがアイヌの伝統的な楽器ムックリの演奏とアイヌの子守唄を歌って下さいました。

第二部 「伝えよう 子守唄・童謡・唱歌」

川口京子（歌手）が長谷川芙佐子（ピアノ）の伴奏でアイヌの子守唄や日本に古くから伝わる子守唄を解説を交えながら歌いました。また、季節の歌や童謡・唱歌を会場の皆様と一緒に歌っていただきました。

②福島県 福島県立博物館エントランスホール

～平成28年度子どもが幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業～

「親子でやすらぐ子守唄コンサート」



<http://www.komoriuta.jp/ar/A16111401.html>

第一部 「対談」

福島県立博物館館長赤坂憲雄さんと日本子守唄協会理事長の西館好子が今回、博物館のエントランスホールで子守唄のコンサートを行うことになったいきさつや、子守唄への思いなどのお話をしていただきました。途中、赤坂館長が五木の子守唄を歌ってくださり、拍手が起り会場にいらした方たちも、孫に聞かせている子守唄や、地元でうたわれている子守唄を披露してくださいました。

第二部 「親子でやすらぐ子守唄コンサート」

お話「どんぐり太郎」では稲村なおさんの語りに藤井秀亮さんがギターで効果音が入り、お話を盛り上げて下さいました。そして、稲村なおさんが逸見良造さんの電子ピアノと藤井さんのギターの伴奏で子守唄・童謡・唱歌を会場の皆様と一緒に歌っていただきました。

(別紙5)

③東京都千代田区立内幸町ホール

～平成28年度子どもが幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業～

「春よこいうたよこい～こころに沁みる日本の歌～」



<http://www.komoriuta.jp/ar/A16122101.html>

第一部 「唄えば楽し」

日本子守唄協会理事長・西館好子のご挨拶しました。唄い継ごう子守唄・童謡・唱歌の皆さんが日頃の成果を披露してくださいました。ただ一人の男性は胸に花を飾り、会場の皆様と一緒に楽しそうに歌ってくださいました。

第二部 「春よこいうたよこい」

逸見良造さんの伴奏でエルフィンの皆さが「春よ来い」を歌って下さいました。ステージの3人のおかげで平均年齢が低くなりました。新年最初のコンサート、稲村なおさんは着物姿で登場してくださいました。藤井秀亮さんがギターの弾き語り「江戸の子守唄」を歌い、逸見良造さんのピアノは子守唄コンサートに新しい風を吹き込んでくださいました。最後に会場の皆様と「夕焼小焼」「故郷」を歌ってお別れしました。

(別紙5)

④岩手県 西和賀町文化創造館 銀河ホール

～平成28年度子どもが幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業～

「春よこいうたよこい～ここに沁みる日本の歌～」



<http://www.komoriuta.jp/ar/A17022402.html>

オープニング みちのくみどり学園、

盛岡市にある児童養護施設、みちのくみどり学園のみなさんがオープニングを飾ってくださいました。園生による「野岳太鼓」、勇壮な太鼓の音が会場に響き渡ります。

第一部 岩手県立不来方高等学校 音楽部

全国大会で数々の受賞に輝く、不来方高校音楽部の皆さんが、郷土の詩人石川啄木の詩を歌ってくださいました。指揮の村松玲子先生も絆纏をを羽織って盛り上げてくださいました。

第二部 朗読とコンサート

日本子守唄協会理事長・西館好子が童話「つららの坊や」を朗読しました。ギター藤井秀亮さんが朗読の合間に演奏や効果音を付けて彩を添えます。

コンサートでは稲村なおさん美智子皇后陛下が作詞した「ねむの木の子守歌」をはじめとして、子守唄や童謡・唱歌を歌いました。ギター藤井さんと電子ピアノの逸見良造さんが多彩な演奏を披露しました。

最後に会場の皆様と「ゆりかごの歌」をうたってお別れしました。

⑤富山県 富山国際会議場メインホール

～平成28年度子どもが幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業～

「とやま子守唄フェスタ2017」



オープニング 少年少女合唱団「サンフラワー」

オープニングを飾ってくれたのは、平均年齢9歳！富山市婦中地区の子どもたちで結成されている少年少女合唱「サンフラワー」の皆さん。パワー溢れるハーモニーが響きました

第一部 「千の風から希望の木へ」

新井満さん（作家・作詞作曲家）がお話と歌を交えた、笑いあり涙ありの、心揺さぶられる時間。「千の風になって」が世に出るまでの経過を様々なエピソードを交えてお話してくださいました。生と死のテーマに、ご来場に皆さんが熱心に聞き入りました。後半には日本子守唄協会理事長、西館好子との対談もあり、新井さんの作品が生み出される背景などお聞きすることができました

第二部 「コンサート」

歌手の稲村なおこさんと川口京子さんが長谷川英佐子さんのピアノ伴奏できれいな歌声を聞かせてくださいました。地元の「とやまの子守唄」や「沼津の子守唄」、子守唄として歌われる童謡の「七つの子」「ゆりかごの歌」、そして季節の歌として「早春譜」などを披露すると、会場の皆さんも一緒に口ずさんでいました。最後に会場の皆様と一緒に、富山で生まれた現代の子守唄「おひざでねんね」と「お山の子守唄」をうたってお別れしました。

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

参加者からの感想として、子育て支援活動を更に広めていきたいという、積極的なお話もいただいた。活動を推進していく協力体制の基盤づくりに努めると同時に、参加していただいた10代から70代までの幅広い年齢層が、このような開催に支持と共感を受けていることからより地域に密着した活動を展開できる可能性がでてきた。子育てに従事している保護者のみならず、これからの母親予備軍である若者たち、豊富な経験を持つ高齢者など世代を超えたネットワークを構築することにより、地域社会全体のコミュニケーション形成や少子化対策にも寄与するものとする。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

東京都千代田区立内幸町ホールチラシ (6/30)

<http://www.komoriuta.jp/ar/A16042601.html>

東京都千代田区立内幸町ホールチラシ (1/20)

東京都千代田区立内幸町ホールチケット (1/20)

東京都千代田区立内幸町ホールプログラム (1/20)

<http://www.komoriuta.jp/ar/A16122101.html>

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

特になし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 特定非営利活動法人日本子守唄協会 (ニホンコモリウタキョウカイ)

住 所： 〒111-0052

東京都台東区柳橋1-1-15 浅草橋産業会館302号室

代 表 者： 理事長 西館好子 (ニシダテヨシコ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 事務局長 岩倉栄一 (イワクラエイイチ)

電 話 番 号： 03-3861-9417

F A X： 03-3861-9418

E - m a i l： info@komoriuta.jp

U R L： <http://www.komoriuta.jp>